

最新NEWS

サッカーボール マルナカカップ第29回香川県少年サッカー選手権 **サッカーボール** を振り返って
2022年6月11日(土)～6月19日(日)【成合河川敷グラウンド・こやまグラウンド】で開催

【大会結果】

優勝	DESAFIO(E)
準優勝	丸亀城東
3位	たどつ
4位	ディアモ
フェアプレー賞	パステル
敢闘賞	善通寺東部

【大会概要】

梅雨空のもと、コロナ感染対策の運用に沿った62チームによる、マルナカカップ第29回香川県少年サッカー選手権(6月11日～19日)が成合河川敷・他1会場において開催されました。

大会最終日19日には準決勝以降を行い、決勝には丸亀城東、DESAFIO(E)が進出し、前半2ゴールをあげたDESAFIO(E)がそのまま逃げ切り、大会連覇を果たしました。

優勝したDESAFIO(E)は、2022年度「香川県ジュニアチャンピオンシップ」への出場権を、また今大会の上位3チームは、2022年度「フジバンカップU-12サッカー大会 四国大会」(9月10日、11日 in徳島)への出場権を獲得しました。

さて、今大会においても2名審判制による試合運営を行い、チーム割り当て審判員や準々決勝以降には、指名された審判員による運営について振り返りますと、試合開始時刻が大きく遅れた試合は無く、審判員としてあらかじめ記載されたメンバー表の内容について理解し、ユニホームの色別、選手が身に着けた用具の確認、指導者の本人確認やライセンス取得状況、試合球の状態確認、試合開始前のアップなど、試合がスムーズに行われるための準備として、審判員自ら試合前にやるべき作業として浸透してきたことの表れだと思えます。

上位試合になれば『グリーンカード』が提示される機会も見受けられるようになり、選手達や観戦されている保護者が『グリーンカード』に対する意義を自然に受け入れている姿が見られました。これは4種独自の活動でもあり、本大会趣旨にもあるフェアプレーの精神を養い、正しく力強く生きる人間をつくることにも重なるものと思えます。

当大会期間に限らず『グリーンカード』を今以上に広く普及してもらえればと思います。

～ 雑学 サッカーの誕生 ～

サッカーが誕生したのは、今から約160年前に遡りイギリス・ロンドンで共通の競技規則に基づいて「フットボール」をしようと協会設立したのがはじまりとか。当初の競技規則には、レフェリーに関する規定が無く、そもそもサッカーは紳士がプレーし、紳士は反則を犯すことがない。仮に試合中に問題が発生した場合は、両チームの選手が話し合いで解決すれば良いとされていたそうです。

その後、サッカーが進化するにつれ両チームからアンパイアを選出し、さらにピッチ外から中立の立場の有識者に裁定を願ったことから「レフェリー」が誕生したそうです。

その後、アンパイアは中立のラインズマン(副審)となり、レフェリーがピッチ内に入って自らが判定に当たることになったそうです。その当時のレフェリーが着用していたフロックコート(男性用礼装)の色が黒であったことから、審判員の服装が黒を基本となり、持っていたステッキ(杖)が副審の持つフラッグへと移り変わっていったといわれています。

《引用文献》JFA.jp | スペクト・フェアプレー

大会名	日程	会場
2022瀬戸大橋記念公園カップサッカー大会予選リーグ	7月2日(土)	瀬戸大橋記念公園球技場
〃 順位リーグ・順位決定戦	7月3日(日)	瀬戸大橋記念公園球技場
2022香川県U-9夏季サッカー大会決勝トーナメント	7月30日(土)/31日(日)	瀬戸大橋記念公園球技場

地域大会などにおいても、「**グリーンカード**」をどんどん活用(提示)してください!!

また、疑問に思うことがありましたら、気軽に質問してください!!

